

# 簿記のススメ ~有識者からの応援メッセージ~



## 簿記がわかれば 経済がわかる

慶応大学教授 竹中平蔵さん

「人間は、意思疎通するためには言語が必要です。簿記は英語よりも世界中で広く使われている共通の言語です。これからのグローバルな社会で生きていくためにも欠かせないのですが、簿記に馴染みのない方が多いですね。中学や高校で全員が学ぶべきだと思います」

「日商簿記検定はよくできた仕組みだと思います。きちんと勉強すれば合格という目標に到達し、経済の基礎がわかるのですから」



## 英語より 簿記の知識が必要

マイクロソフト日本法人 元社長 成毛 眞さん

「日本では、多くの人にとって英語を使う機会は限られますが、簿記はすべての人の仕事や生活に直結します」

「企業に勤めていると、簿記を通じて学ぶ言葉がたくさん出てきます。簿記を学ぶことは、仕事をするうえで必要な言葉を学ぶことでもあるのです」

「簿記は決して難しくありません。集中して勉強すれば誰でも短期間に身につけることができます」



## 理系人材こそ 簿記を学ぶべき

放送大学長 東京大学名誉教授 岡部洋一さん

「理系で学ぶ人こそ、簿記を学ぶべきだと思います。理由は二つあります」  
「一つ目の理由は、簿記を学んでいれば、自分の会社の財務状況を理解し、会社の利益の最大化のためにはどうすべきかがわかって、自分の仕事との関係も見えるからです」

「二つ目は、簿記のシステムが非常にしっかりしているからです。いったん理屈がわかれば、理系の人間には大変わかりやすい仕組みです」



## ビジネスパーソンに 簿記は不可欠

経済評論家 勝間和代さん

「英語が話せないと外国の方と話しができないように、簿記を知らずに財務諸表は読めないし、ビジネスモデルは理解できません」

「ビジネスに対する皮膚感覚を身につけることが女性にとっては必要で、それを磨くには簿記の習得が一番です。簿記は細かな目配りを必要とする一方で、体力勝負ではないので、女性が勉強するのに向いていると思います」

「簿記は『小さなMBA（経営学修士）』と言ってもいいと思います」

▶ 詳しくは

日商簿記

🔍 検索